

有安さんと大庭さんの 往復書簡

美幸さん

こんにちは！

ちょっとしたトラブルシューティングがあり、あわあわしたこの頃でした。

私は花粉症らしい症状もなく、バイク乗りのベストシーズンを謳歌しております。

美幸さんは、新年度もあり、そろそろ季節のお疲れが出てくる頃かもしれませんね。

さて、「年齢を重ねて変化したこと」—

私は36歳になりましたが、人生半分にも到達していなくても変化を感じることがあちこちにてできました。

身体的変化もありますね。

若い頃の写真が出てきて比べると年齢を感じるとか、イタいファッションにため息をついてみたりとか。

身体的変化のなかで最も大きいのは「味覚」。

美幸さんも味覚の変化を綴っていらっしゃいましたが、私も変わった部分を自覚しています。

若い頃ならではなのでしょうが、辛いものは飛んでいきそうなほど辛い、甘いものは骨抜きにされるほど甘い、酸っぱいものは歯がとけるのでは！と思うほどに…という味覚はもう私にはありません。

辛いものは好きですが、スパイスの香りを楽しみ、甘味のなかにもコクや苦みを求めはじめました。

ワガママになったのかもしれません。

ものの捉え方や感覚も、変化したかもしれません。

若い頃からいろいろな人に言われていたことが、ようやく腑に落ちて、実感をこめて理解できてきつつあるのではないか、と思うことがあるのです。

たとえば「焦らなくていい」ということ。

有安さんと大庭さんの 往復書簡

若かった私は、何に急き立てられていたのか、（おそらく）ほとんどすべてのことに対して焦りを感じていました。

早く出かけなくちゃ。これを買わなくちゃ。読まなくちゃ。勉強しなくちゃ。連絡しなくちゃ。

一挙手一投足に、焦りがにじみ出ていたのだと思います。「あなたといると疲れる」と言われたことも、何度もありました。

年齢を重ねて、少しは前後が見えるようになったのでしょうか。

焦ったとて結果の変わらないことは焦らないし、結果をとわず自分の頭で考えることが好きになってしまい、考えるためにあえて時間を設けるようにもなりました。

わかりやすいところでいえば、「即レス」にこだわらなくなったところ。

仕事の連絡など、するべき連絡は迅速にしますが、「確認しました」ということを伝えて、「少し考えてみたい」「アイデアがわいたら連絡します」と、拙速でない返答をするようになっていきます。

学生時代の私を知る人が見たら、たいそう驚かれることでしょう…

そういえば、美幸さんとこの手紙の往復をはじめるきっかけもメッセージでした。

美幸さんのご投稿からも、皆さん感じていらっしゃるでしょうが、紡がれることばやメッセージには、その人の歴史が詰まっていると思うのです。

相手に配慮しながらも、ご自身のことを伝えてくださる心地よさ。遠慮と配慮はちがうのだということを、美幸さんのメッセージに学ぶことができます。

有安さんと大庭さんの 往復書簡

そうそう。以前からお聞きしてみたかったのですが、そんな魅力的なメッセージを伝えられる美幸さんは、絵文字も上手に使われますね。

リアクションやLINEのスタンプなども案外コツのいるものですが、現代を生きる我々には必須アイテム。美幸さんがスタンプや絵文字をどのように選ばれるのか、少し気になっています。

よろしければ、そのコツ、エッセンスだけでも教えていただけませんか？

絵文字のことを思い出したのは、学生時代、ともに学んだ仲間の研究が想起されたから。

日本人は絵文字・顔文字の使い方が独特で、創造的だと言っていました。

それを単語で表すと「おもてなし」「愛」「度胸」だそう。

度胸ってなんで？と思ったのですが、15年くらい経ってから、美幸さんとのやりとりに答えのかけらをみつけた気持ちです。

愛実



“emoticon”で探し、出てきた画像。私、この「見ざる」をよく使います。

愛実さん

こんにちは!

久しくご連絡がなかったのは、見事に試験に合格されたことで、多くの仕事が舞い込みお忙しくされていることとおっしゃって、何とトラブルに巻き込まれていらっしやうとのこと。心中お察し致します。

さて、今回の私のターンは「メールのリアクションやスタンプをどのように選ぶのか」でしたね。

以前のやりとりで、好きなことは集中すると周りの喧騒が耳に入らなくなるほど、その世界に没頭してしまうとお伝えしました。そんな時、私は感情も引き連れます。

読書だったらページをめくるたびに、映画だったらシーンが変わるたびに、私の表情は目まぐるしく変化しています。それは、メールも同じこと。いただいたメールを読む際に、メールを作成している際に、表情の変化が伴うのです。

ですから「メールのリアクションやスタンプをどのように選ぶのか」というより「その時の気持ちに合ったリアクションやスタンプを探す」と言った方がしっくりきます。

嬉しい時は♡をよく使用しますが、感情の度合いによって、数・大きさ・形・色などを選びます。同様に、悲しい時は涙の量・泣き方・表情などを選びます。

驚いた顔や変顔など、絵文字は様々な種類があり、今の私にはどれが当てはまるのかをワクワクしながらチョイスしているのですよ。

たまに「美幸さんってこんな絵文字も使用されるのですね(笑) 意外でした。」
と言われることもチラホラ。
普段は上品ぶっておりますが、中身は遊び心が満載なのですよ。

ね、楽しんでますでしょ♪
ですから、愛実さんが思っているほど大変な作業ではないのです。

ただ、氣を付けないといけないことは、屋外でメールを読んだり作成する時。
だって、ニヤニヤしながら、あるいは眉をひそめながら操作しているだなんて、
第三者の立場に立ったら止めたくくなりますもん。
「貴女はハイクラスな女性を目指しているくせに」って (笑)

アラフォーの私は、そうしてリアクションやスタンプなどの絵文字を使用しながら
メールを楽しんでおりますが、若い方はスタンプなんて使わないそうですよ。
まさにジェネレーションギャップ。

ジェネレーションギャップといえば、私は先日友人と「SLAM DUNK」を鑑賞しました。
中学時代にどハマリした世代なのです。
あの頃の熱い想いが蘇ってきてとても満足した後、
食事の席で興奮冷めやらぬ思いで友人と感想を語り合っておりましたら、
カウンターに立っていた店員が「僕もSLAM DUNKが大好きなんです!!」
と話しかけてこられました。

「あなたも好きなんだ。でも若いし世代じゃないよね？」と私が尋ねると
「父が好きで、そこから僕も好きになったんです!!」とのこと。
「お、お父さん?! あなたいくつなの？」と問いましたら「20歳です」との答えが。
おおおーーー私の半分かぁww

驚きと共に、
「世代を越えても楽しめるものがあるのは素晴らしいことだ」
と改めて感じた出来事でした。

私は仕事柄、両親と同じ世代の方とも仲良くさせていただいているのですが、愛実さんも、歳が離れた素敵なお友人が沢山いらっしゃると思います。学ぶことが多い人生の先輩と、ご縁を結ぶことが出来るって素晴らしいですよ。

次回はそんな「歳の離れた友情」についてお聞かせいただければ嬉しいです。

来週からは早くも梅雨入りのような天候が続きますね。ジメジメとした天気は苦手ですが、心の中だけは晴れ晴れしく過ごしていただきたいものです。

それでは、また♡

美幸



ちなみに私の好きなキャラクターは流川楓。愛実さんは、どうですか？